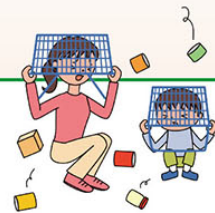


# 地震災害について



地震発生時には、慌てずに以下のような行動をすることが大切です。

また、地震発生直後には津波がくることも予想されますので、気象情報に注意してください。

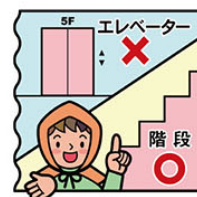
## 【自宅での場合】

- ①揺れが収まるまで、丈夫な机の下に隠れるなど身の安全を確保する。
- ②揺れが弱くなったり、収まったら玄関や窓をあけて出口を確保しましょう。
- ③火を使用中の場合は、あわてず火を消しましょう。
- ④通電火災を防ぐため、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。
- ⑤避難する際には、必要最小限の荷物をもって、原則徒歩で指定の避難場所・避難所へ避難しましょう。
- ⑥うわさやデマに惑わされないよう、ラジオなどで正しい情報を把握しましょう。



## 【スーパーやデパートでの場合】

- ①買物かごやカバン等で頭を保護しましょう。
- ②ショーケースや陳列棚などの倒れやすいものから離れ、エレベーターホールや建物の柱付近に身を寄せましょう。
- ③慌てて出口に殺到せず、係員の指示に従いましょう。
- ④エレベーターが動いていたとしても、階段等で避難するようにしましょう。



# 津波災害について



## 【津波から身を守るための注意点】

### ①地震の大きい、小さいで自己判断は厳禁

大きな地震はもとより、弱い揺れであっても長く揺れる場合には、津波が発生する可能性がありますので、地震の大きさで自己判断をしないで、素早く避難することが大切です。

### ②避難は、原則徒歩で！「遠く」より「高く」！

原則は、徒歩で避難しましょう。車での避難は渋滞を招き、余計に時間を要することや事故につながる危険性も考えられます。

また、沿岸部や河川沿いから「遠く」へ避難するのではなく、より「高い場所」へ避難しましょう。

### ③津波は繰り返し襲ってきます。

津波は第1波から反射を繰り返すことにより、何回も押し寄せることがあるので、行政や防災関係機関から安全が確認されるまでは、高台にとどまりましょう。

### ④津波避難場所、津波避難ビルのマークを覚えましょう！

津波避難に関する統一的なマークが定められています。これらのマークを覚えておくことで、いち早く避難することに役立ちます。

